



盲学校に50万円 春めき財団寄付

平塚

視覚障害者の教育に役立ててもらおうと、春めき(足柄桜)の活用などを行っている「春めき財団」(南足柄市

塚原)が15日、県のまなびや基金を通じて県立平塚盲学校(平塚市追分)に50万円の寄付を行った。写真。

寄付は同財団が行っている、依頼人の半生を歌と映像で振り返る「セレモニービデオ」事業の一環。同事業では売上金から必要経費を引いた全額を視覚障害者施設に寄付することになっている。春めきは香りが強い桜のため、同校へは「香りで春を感じて」と5年ほど前に苗木を寄贈。2年前にも場所を取らない鉢植えの苗木を贈っている。

同校で行われた贈呈式で「今後もいろいろな面で寄付していければ」と話す古屋富雄理事長に対し、柴山洋子校長が「大変ありがたい。拡大読書機や点字タイプライターなど、職員で話し合って生徒たちに還元できるものにしたい」と感謝の言葉を述べた。